

# ちょっとした工夫報告書

ブロック	<input type="checkbox"/>	北海道	<input type="checkbox"/>	東北	<input type="checkbox"/>	関東
	<input type="checkbox"/>	中部・北陸	<input type="checkbox"/>	近畿	<input checked="" type="checkbox"/>	中国・四国-1
	<input type="checkbox"/>	九州	<input type="checkbox"/>	沖縄		
テーマ	<input checked="" type="checkbox"/>	作業効率	<input checked="" type="checkbox"/>	安全	<input type="checkbox"/>	組織の活性化
項目	高知県自動車リサイクル協同組合 安岡金属(伊野工場)様					

## 概要

### 作業効率

マニフェストの誤発行をしない取組をしています。

マニフェストを、誤発行した場合他者に迷惑がかかり  
自社でも煩雑な事務手続きがあり作業効率が、下がるため

- 1 引取先での車体番号・ナンバープレートの確認
- 2 入庫時の装備確認
- 3 解体時の車体番号確認及び 装備確認

### 安全

エアバック<sup>\*</sup> の適正な処理の取組をしています。

エアバック<sup>\*</sup> を適正に処理することにより  
後業者(破碎業)の安全を保つことによる信頼関係の構築

- 1 車台情報の活用(エアバック<sup>\*</sup> の個数と位置の確認)
- 2 リコールエアバックの確認
- 3 作動処理後の作動の確認

# ちょっとした工夫報告書

ブロック	<input type="checkbox"/>	北海道	<input type="checkbox"/>	東北	<input type="checkbox"/>	関東
	<input type="checkbox"/>	中部・北陸	<input type="checkbox"/>	近畿	<input checked="" type="checkbox"/>	中国・四国-2
	<input type="checkbox"/>	九州	<input type="checkbox"/>	沖縄		
テーマ	<input checked="" type="checkbox"/>	作業効率	<input type="checkbox"/>	安全	<input type="checkbox"/>	組織の活性化

項目 シーパーツ様:電子マニフェストシステムに正確なデータを送るためのチェックシステムと体制

## 概要

スピード処理を重要視せずに正確性を重視するとヒューマンエラーを防止できる。

紙ベースでは人間の書体の指向性によって目視のばらつきがあるため、ペーパーレスも可能としているが、あ

営業	車検証や刻印を確認し、正確な車台番号を自社管理システムに登録。
引取	ドライバーは引取カードと自社管理システムに登録した車台番号をiPhoneで確認し、引取車両と照合。
車両チェック	入庫時に車台番号の刻印と車両をiPadで撮影・登録し、事務所と営業がリアルタイムで確認できる。
フロン・エアバッグ	一台ずつ処理が終わり次第、作業工程・処理内容をiPadで自社管理システムに登録する。
解体工程	作業内容をiPadで自社管理システムに登録する。リアルタイムで事務所が確認して電子マニフェストの準備をする。
事務所	車台番号を引取カード情報と車両チェック時の車台番号および車両の画像をもとに間違いがないか確認し、電子マニフェストシステムに入力する。

以上のように各工程の従業員が前工程のミスの有無をチェックしながら次工程に進めるため、重大なミスを防止できる。

# ちょっとした工夫報告書

ブロック	<input type="checkbox"/>	北海道	<input type="checkbox"/>	東北	<input type="checkbox"/>	関東
	<input type="checkbox"/>	中部・北陸	<input type="checkbox"/>	近畿	<input checked="" type="checkbox"/>	中国・四国-3
	<input type="checkbox"/>	九州	<input type="checkbox"/>	沖縄		
テーマ	<input type="checkbox"/>	作業効率	<input type="checkbox"/>	安全	<input checked="" type="checkbox"/>	組織の活性化

項目 西川商会様：健康経営の取り組み

## 概要

今振り返れば、2004年に労災事故が発生しました。その時、社長が「社員は、傷口が痛むだろうが、私は、心が痛む。」の一言が健康経営のスタートだったと思います。安全に作業するためには、健康であることが不可欠です。社員は勿論のこと、家族まで悲しませることになる労災を、二度と繰り返さないために、社員一人ひとりの「安全管理」と「健康管理」の強化に着手したのです。とは言え何から行動したら良いのか分らず、鳥取県内の企業の取り組みや行政の取り組み等を参考にし、具体的行動を開始しました。

人の体は、約600の筋肉で構成されており、ラジオ体操で約400の筋肉を動かす効果が有るが有ることを知り、まず、2004年10月から「ラジオ体操」を導入いたしました。社長は、もともと健康の大切さについて意識が高く、朝礼の場など機会を見つけては、「旬の食材を旬の時期に食する事の大切さ」や「朝食を抜かないことの大切さ」を紹介してくれていました。それがきっかけで、「食」にまつわる情報を回覧等で定期的に発信しています。

2008年から健康状態の「見える化」にも取り組んでいます。社員は、出勤掲示板に表示された「良好」「やや不調」「不調」の中からその日の体調に合わせて選び、その位置にマグネットを移動します。仲間の健康状態を共有化することによって、チームワークも高まり、体調の変化に上司や同僚が配慮し、体調不調時のオーバーワークを未然に防止しています。

2015年からは、年間1日だけですが「記念日休暇」を導入いたしました。健康を維持するためには、しっかりと休養することも必要であること、また、日々の労働を支えてくれる家族への感謝も示そうと導入いたしました。誕生日や結婚記念日、または、家族に係るお祝い日であれば、取得出来る制度です。

行政とのつながりは、2014年7月からです。鳥取県・協会けんぽ鳥取支部主催の「社員の健康づくり宣言事業所」に登録。

2015年11月には、「鳥取県がん検診推進パートナー企業」としても登録いたしました。そして、行政や協会けんぽ情報を活動に取り入れております。例えば、鳥取県の「歯と口腔の健康づくりに関する推進条例」に沿って、社員の歯科検診を無料で実施していただきました。今年度(2016年)からは、医療機関の協力を得、当社にてインフルエンザの予防接種を社員全員へ実施いたしております。健康でなければ「笑顔」になれません。いつもお客様に笑顔で接する事、社員同士が笑顔で気持ち良く挨拶し合うことが「安全な職場」につながると考えております。「健康は、私の財産、家族の財産、そして、我社の財産」をスローガンに、これからも「安全管理」「健康管理」を進めて参ります。

# ちょっとした工夫報告書

ブロック	<input type="checkbox"/>	北海道	<input type="checkbox"/>	東北	<input type="checkbox"/>	関東
	<input type="checkbox"/>	中部・北陸	<input type="checkbox"/>	近畿	<input checked="" type="checkbox"/>	中国・四国-4
	<input type="checkbox"/>	九州	<input type="checkbox"/>	沖縄		
テーマ	<input type="checkbox"/>	作業効率	<input type="checkbox"/>	安全	<input checked="" type="checkbox"/>	組織の活性化
項目	桃太郎部品 事例					

## 概要

こちらからの情報発信として、社員主導で手作り新聞を発行している。出来るだけ手書きで、会社の雰囲気や姿勢が伝わる内容としている。継続する事を目的とし、年4回の発行で、発刊50号を超えた。(13年目の取り組み)

